

製品名: プロカスパーゼ 7 (1002) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe16509**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.23mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	34kDa

抗原情報

遺伝子名	CASP7
別名	apoptosis-related cysteine peptidase; Apoptotic protease Mch-3; CASP-7; Caspase-7 subunit p11; CMH-1; ICE-LAP3; ICE-like apoptotic protease 3;
遺伝子 ID	840.0
SwissProt ID	P55210
免疫原	ヒトプロカスパーゼ 7 の合成ペプチド

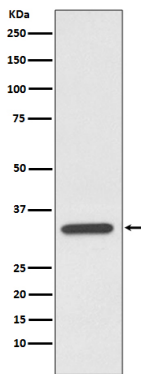
背景

ペプチダーゼ C14A ファミリーに属する。アポトーシス実行を担うカスパーゼの活性化カスケードに関与する。ステロール調節エレメント結合タンパク質 (SREBP) を切断・活性化する。ポリ (ADP-リボース) ポリメラーゼ (PARP) の 216-Asp--Gly-217 結合をタンパク質分解的に切断する。過剰発現はプログラム細胞死を促進する。アポトーシス実行を担うカスパーゼの活性化カスケードに関与する (PubMed:8521391, PubMed:8576161, PubMed:8567622, PubMed:9070923, PubMed:11701129)。ステロール調節エレメント結合タンパク質 (SREBP) を切断・活性化する (PubMed:8521391, PubMed:8576161, PubMed:8567622, PubMed:9070923)。ポリ (ADP-リボース) ポリメラーゼ (PARP) を「216-Asp-|-Gly-217」結合でタンパク質分解的に切断する。過剰発現はプログラム細胞死を促進する (PubMed:8521391, PubMed:8576161, PubMed:8567622, PubMed:9070923)。リン脂質スクランブラーゼタンパク質 XKR4、XKR8、および XKR9 を切断する (類似性による)。

研究分野

細胞生物学

画像データ



Jurkat 細胞溶解物中のプロカスパーゼ 7 発現のウェスタン プロット分析。